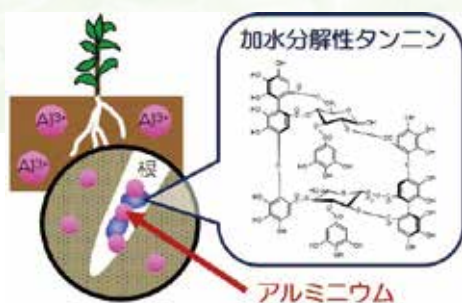


森林生物の利用技術の高度化と林木育種による多様な品種開発及び育種基盤技術の強化

森林生物のもつ機能を解明することにより樹木やきのこの利用を進めるとともに、森林づくりのための優良な苗木品種の開発を行い、森林の機能発揮や生活環境の改善を図ります

生物機能の解明による森林資源の新たな有効活用技術の高度化

森林の持つ多様な機能を高度に発揮させ持続的に利用することで社会の要請に応えていくため、先端的なバイオテクノロジー技術を取り入れながら、森林生態系の遺伝的多様性や樹木の環境適応機能、成長・分化・代謝産物にかかる機構などの解明、大量増殖基盤技術の開発、マツタケなどのきのこ栽培技術や森林微生物の有する環境浄化機能の利用技術の開発を行います。



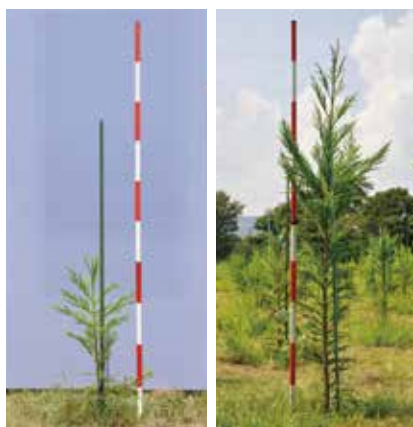
生物機能の解明と利用



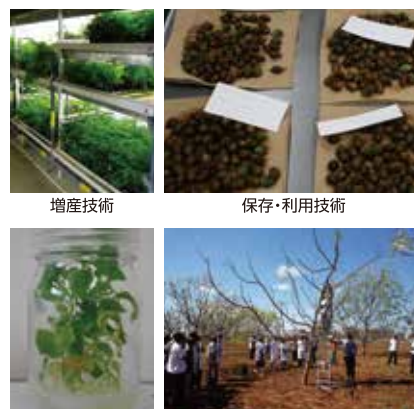
マツタケ人工栽培に向けた取り組み

多様な優良品種等の開発と育種基盤技術の強化

地球温暖化防止、林業の成長産業化、花粉発生源対策等の多様なニーズに対応する優良品種の開発により、森林の機能発揮や生活環境の改善を行います。このため、開発期間を短縮する高速育種技術や林木遺伝資源の保存・利用技術、バイオテクノロジーを利用した育種技術、国際的な技術協力や共同研究を通じた育種技術の開発及び品種等の普及技術の開発を行います。



スギの従来品種(左)と初期成長に優れたエリートツリー(右)



関連する育種基盤技術